

## 外壁を張り分ける方法

文書管理番号：1063-02

### Q. 質問

外壁の一部だけ色を変えたい。

外壁のサイディングを張り分けたい。

### A. 回答




外壁を部分的に張り分けたい場合は、外部意匠配置の部分サイディングを利用する方法と 3D パースで面分割を行う方法があります。

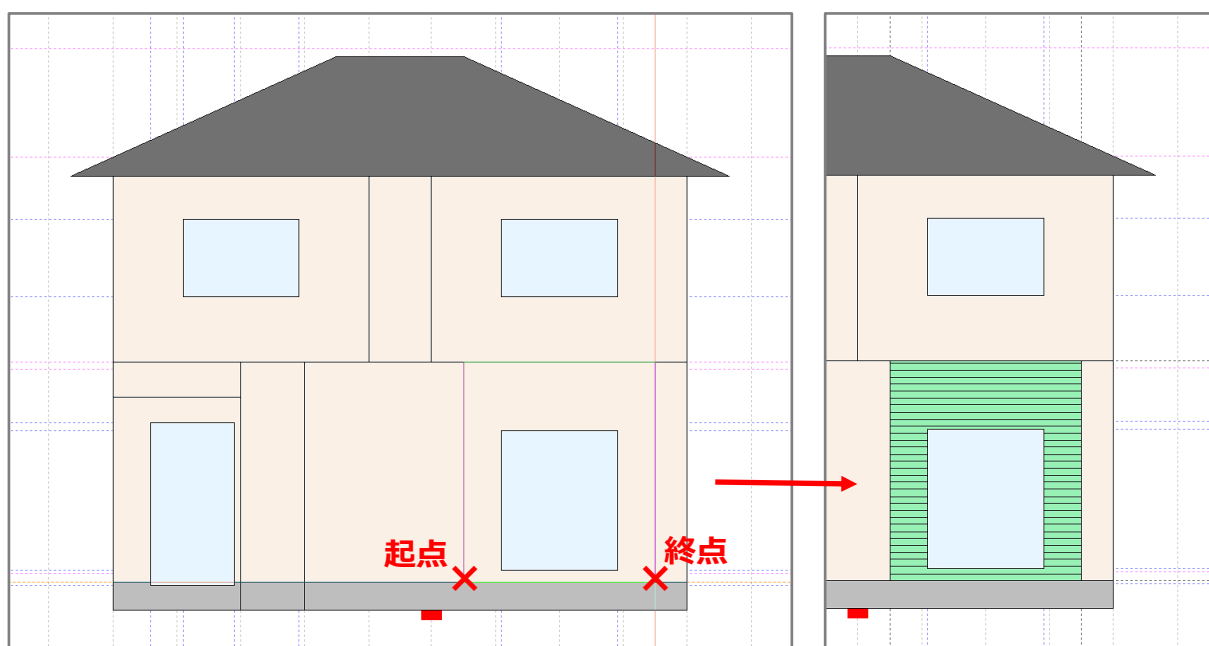
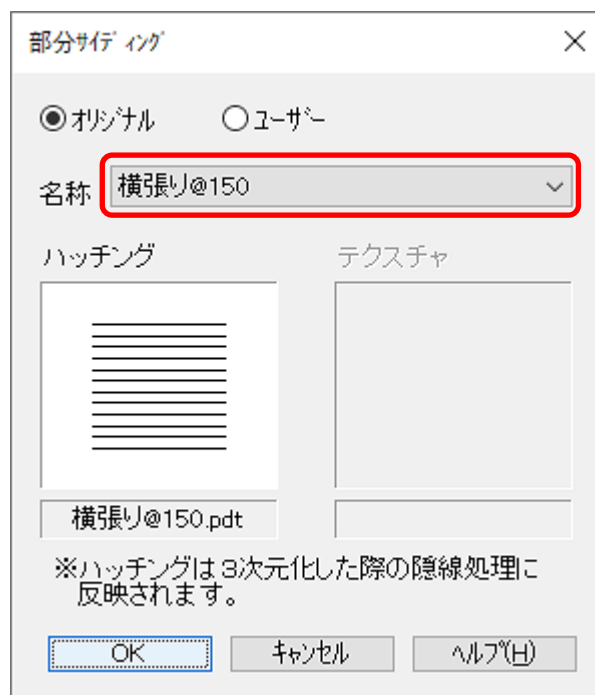
ここでは、南面の外壁の一部を下のように張り分ける場合において、部分サイディングを利用する方法と面分割を行う方法の 2 通りの操作で説明します。





## 操作手順：部分サイディングの利用

外壁やバルコニーの手摺壁、出窓の一部などに部分サイディングを配置することで、3D パースやカラー立面では、外壁とは別に選択ができます。

- ①  (外部意匠) で、 (部分サイディング) をクリック
  - \* 部分サイディングの画面が表示されます。
- ② 名称からハッチングの種類を選択し、「OK」をクリック
- ③  (水平配置) をクリック
- ④ 南面の1階で、張り分けたい範囲を起点—終点で指示

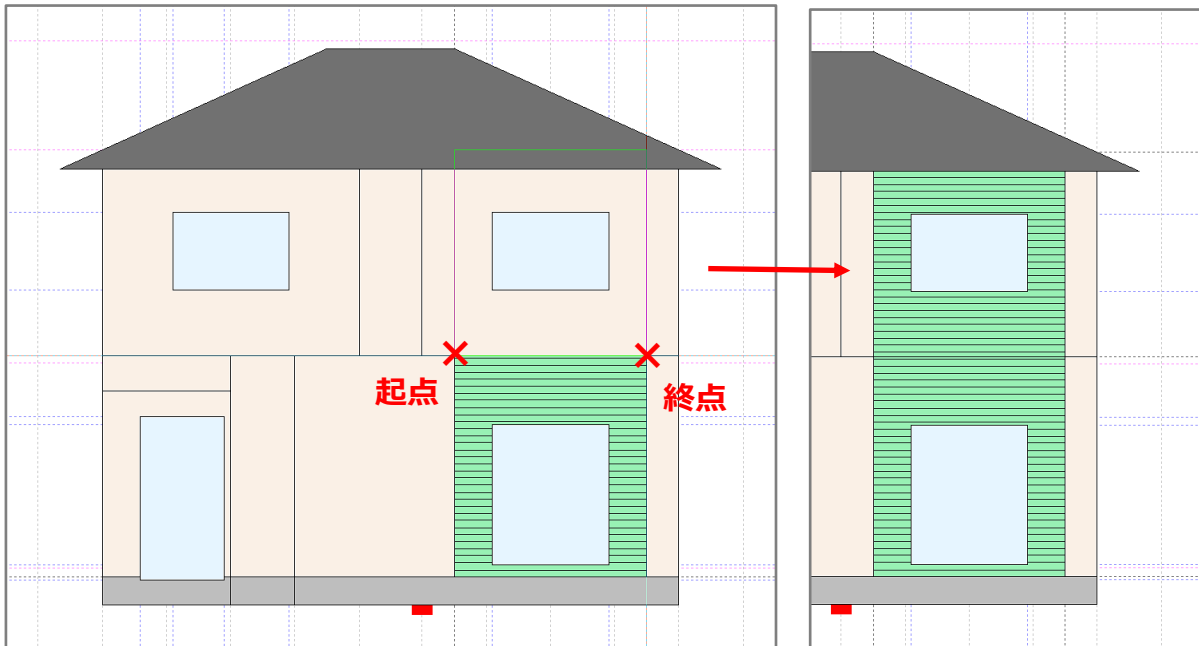



- \*  (水平配置) では、画面の水平方向に起点-終点を指示することにより、指示範囲の階基準（1階は基礎上）から軒までに配置されます。範囲を指定して配置したい場合は、 (矩形配置) を利用してください。
- \* 張り分けたい位置にカーソルがスナップしない場合は、あらかじめ補助線を引いてください。補助線の入力方法については、[こちら](#)をご覧ください。

[\[1036\] 間くずれの間取りの入力方法（補助線・グリッド編集の利用）](#)

- \* 部分サイディングは階層ごとに配置します。


⑤ 同様に 2 階にも同じ範囲で部分サイディングを配置



⑥  (3D パース)で確認



**【注意】**

部分サイディングは、各階ごとに設定してください。1階から2階まで通して配置することはできません。 (矩形配置)で、階をまたいで範囲を指定した場合は、メッセージが表示されます。

また、部分サイディングは、外郭となる外壁に配置できます。3次元化の際に自動で生成される外壁部分（入母屋屋根の妻壁部など）には、配置ができません。自動で生成される外壁部分を張り分けたい場合は、3Dパースなどでその外壁面のみ選択し、色を変更してください。

**【参考】**

部分サイディングが入りたい位置に上手く配置できない場合には、平面モードで入力する方法もあります。

平面モードで部分サイディングを配置する方法については、こちらをご覧ください。

[\[1065\] 部分サイディングの配置方法（平面モードの利用）](#)

配置した部分サイディングのハッチング模様は、立面図や3Dパースの線画に反映されます。


パースを線画で線画として出力する方法については、こちらをご覧ください。

[\[1051\] パースを線画で出力する方法](#)

\* パースの線画出力は、「1/100 平面図」機能が含まれるシステムで行えます。

## 操作手順：3D パースで面分割を行う方法

3D パースやカラー立面では、1枚の外壁面を分割することで、面を別々に選択することができます。

- ①  (3D パース)で、画面右下にある要素の選択モードをクリックし、「面」に変更



- \* 右クリックメニューの「選択モード変更」または「編集」⇒「選択モード変更」からも変更できます。

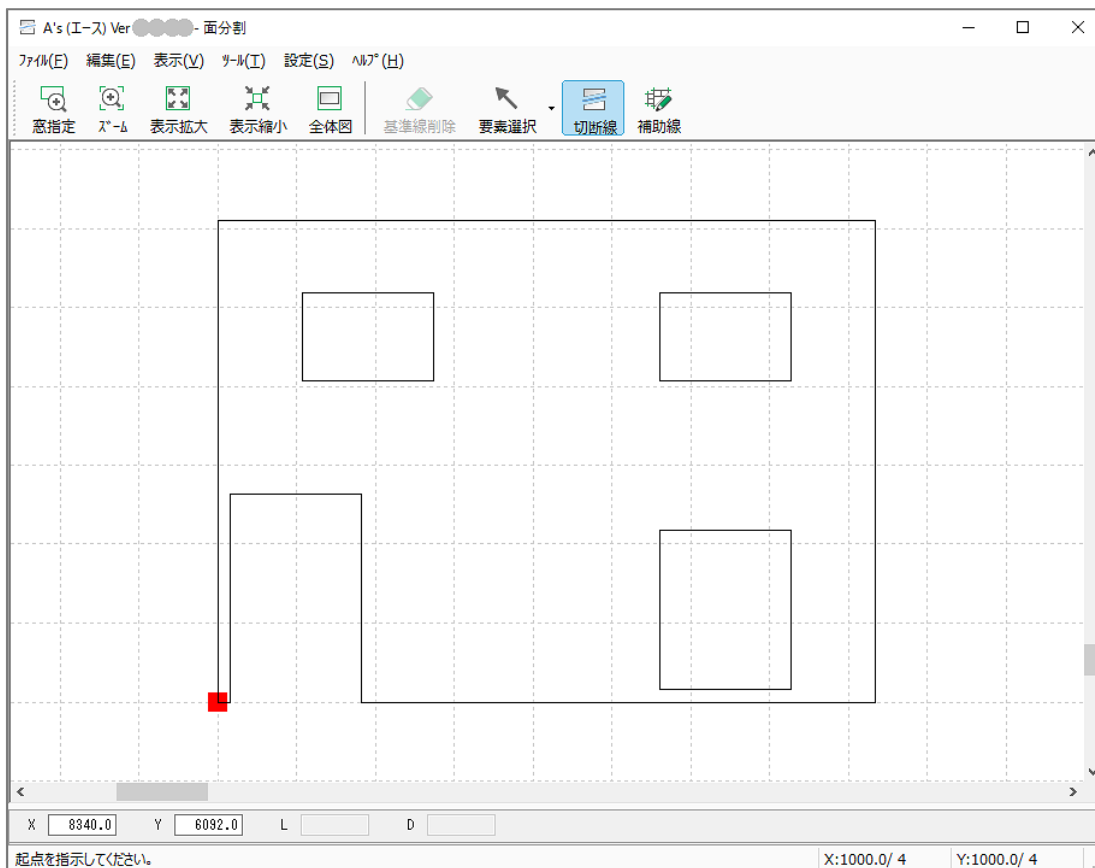
- ② 張り分けたい南面の外壁をクリックし、右クリック


- \* クリックした面が赤く選択され、パースの右クリックメニューが表示されます。



③ 「面分割」をクリック



\* 面分割の画面が表示されます。



④  (補助線)をクリック

\* 補助線のオフセット値を設定する画面が表示されます。

\* 「ツール」⇒「補助線入力」を選択してもかまいません。

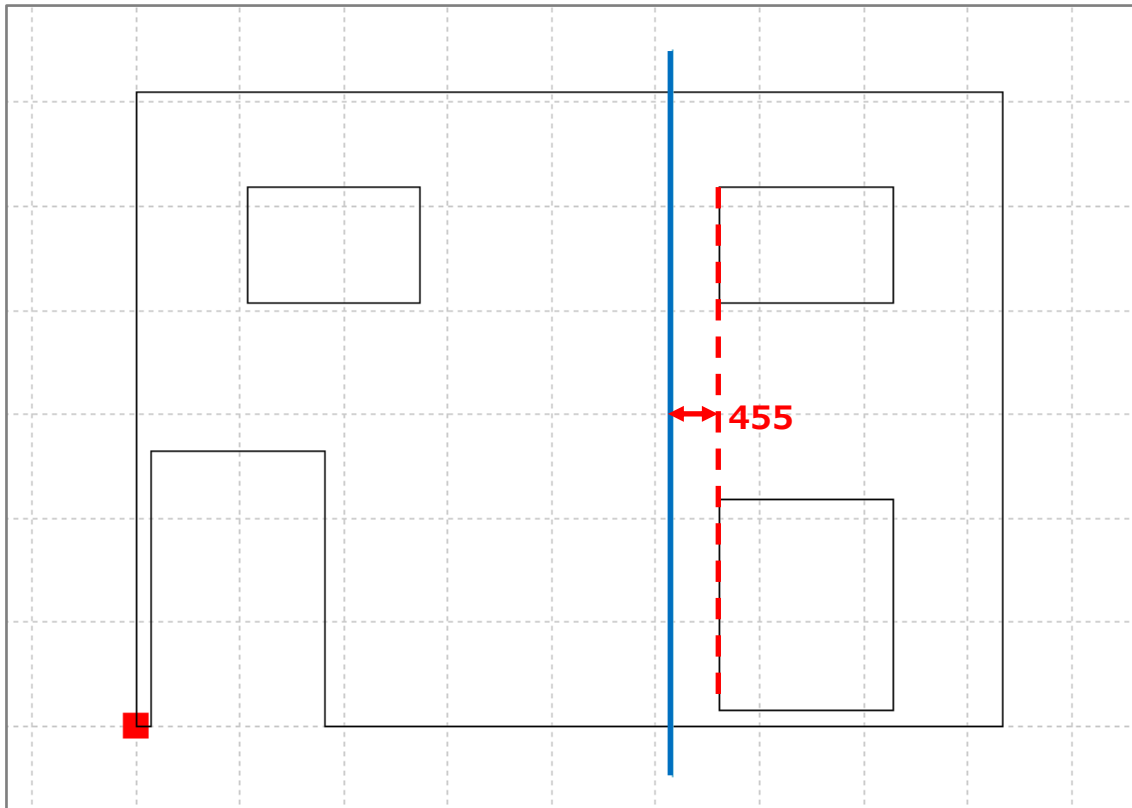
\*  (切断線)と  (補助線)が表示されていない場合は、画面を拡大して、アイコンを表示させるか、「>>」をクリックして表示されるメニューから選択してください。

⑤ オフセット値を「455」mm に設定し、「OK」をクリック



\* 今回は、開口部の両側から 455mm の位置で張り分けますので、「455」mm とします。


⑥ 張り分けたい位置に補助線を入力



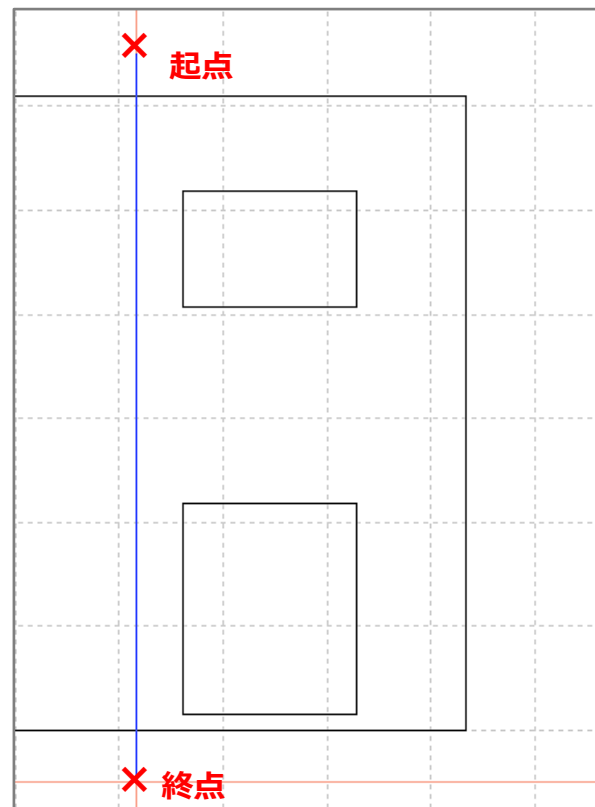
- \* 補助線の入力方法や伸縮については、こちらをご覧ください。

[\[1036\] 間くずれの間取りの入力方法（補助線・グリッド編集の利用）](#)

[\[1037\] 補助線の伸縮方法](#)

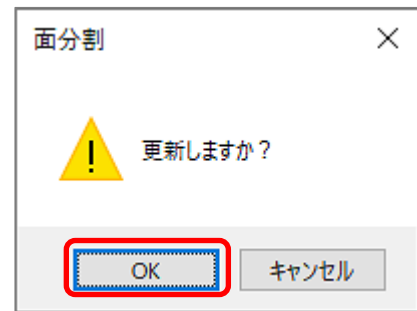
⑦  (切断線)をクリックし、面を分割するように補助線上を起点-終点で指示

- \* 操作⑦で入力した補助線をなぞるように切断線を入力します。
- \* 起点をクリック後、キーボードの[shift]キーを押しながら終点をクリックすると、起点から真っ直ぐに入力できます。
- \* 終点をクリック後、「更新しますか?」とメッセージが表示されます。

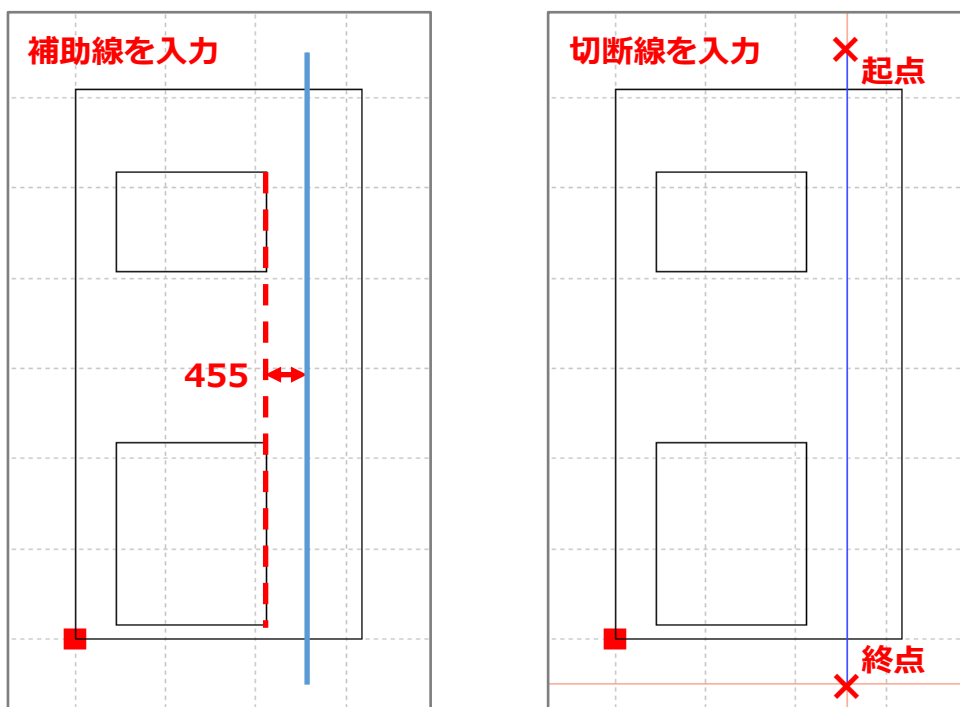


⑧ 「OK」 をクリック

- \* 面分割の画面が閉じます。
- \* 面分割を行うと、分割した面を個別に選択できるようになります。



⑨ もう一方も同様に、P.5 操作③～P.7 操作⑨の手順で分割





## ⑩ 分割した面の部材色を変更

**【注意】**

プラン図で壁などの修正を行うと、面の形状が変わり面分割を行った情報はクリアされ、部材色も初期化されます。面分割は、プラン確定後に設定してください。

**【参考】** 1階と2階で外壁を張り分けたい場合

3Dパースやカラー立面の作成条件で、「壁の最適化」がONになっている場合は、階層ごとに外壁を区別せず、垂直方向につながっている同じ箇所ですべて階層の外壁面を合成し、1枚の外壁とします。1階と2階で別々に外壁を張り分けたい場合などは、「壁の最適化」処理をOFFにし、階層ごとに外壁を表示する設定に変更します。

「壁の最適化」の設定変更方法については、こちらをご覧ください。

[\[1064\] 階層ごとに外壁を分ける方法](#)